



評価報告書 2013 概要版

県では、総合計画「かながわグランドデザイン」を着実に推進し、進行管理を行っていくため、総合計画審議会による政策評価を行っています。

このリーフレットは、2013年度の政策評価の結果を整理した「かながわグランドデザイン 評価報告書 2013」の概要版です。「かながわグランドデザイン 実施計画 プロジェクト編」に掲げた各プロジェクトの評価と主な取組み状況などを掲載しています。

県の施策の全体や評価の詳細については「かながわグランドデザイン」及び「かながわグランドデザイン 評価報告書 2013」のホームページをご覧ください。また、県政情報センター、各地域県政情報コーナーにおいて冊子としても閲覧できます。

皆様からのご意見・ご提案をお待ちしています。

ホームページへのアクセスは裏面を参照ください

かながわ グランド デザイン



イラスト 作成中

かながわブランドデザインの進行管理

「かながわブランドデザイン」

県では、2011年3月に発生した東日本大震災及び福島第一原子力発電所の事故の影響などを踏まえて総合計画の見直しを行い、「かながわブランドデザイン」の「基本構想」と「実施計画」をとりまとめました。



基本構想



実施計画
プロジェクト編



実施計画
主要施策・計画推進編

プロジェクト

実施計画に掲げられているプロジェクトは、先進性や発展性を持った重点施策を分野横断的にとりまとめたものです。政策のまとめりごとに6つの柱を立て、27のプロジェクトが位置づけられています。これらのプロジェクトが政策評価の対象となっています。

柱	神奈川からのエネルギー政策の転換	プロジェクト1～2
柱	災害に強く安全で安心してらせるまちづくり	プロジェクト3～5
柱	いのちが輝き誰もが自分らしくらせる社会づくり	プロジェクト6～12
柱	次世代を担う心豊かな人づくり	プロジェクト13～15
柱	人を引きつける魅力ある地域づくり	プロジェクト16～22
柱	神奈川のポテンシャルを生かした活力創出	プロジェクト23～27

評価別プロジェクト数の一覧

県では、総合計画「かながわブランドデザイン」を着実に推進し、進行管理を行っていくため、総合計画審議会による政策評価を行っています。

2013年度の政策評価結果の概要は表のとおりです。

プロジェクト全体の評価（二次評価）		プロジェクトの数
	順調	3
	概ね順調	23
	やや遅れている	1
	遅れている	0

総合計画審議会の評価（総括）

各プロジェクトの評価結果と主な取組み状況

凡例	柱	柱の名称
柱番号	PJ	プロジェクトの名称
プロジェクト番号		2013年の主な取組み状況
		取組みがやや遅れている プロジェクトについての課題認識

プロジェクトの柱ごとに同色系で色分けされています

プロジェクトの全体の評価を
かながわキンタロウの数で示しています。

	順調
	概ね順調
	やや遅れている
	遅れている

柱 神奈川からのエネルギー政策の推進

PJ1 かながわスマートエネルギー構想の推進

太陽光発電など再生可能エネルギー等の導入促進
住宅のエネルギー使用を管理するHEMSと併せた太陽光発電設備の設置に対する補助の実施
省エネによる電力需要の縮減
ガスコージェネレーション、ビルのエネルギー使用を管理するBEMS設置に対する補助の実施
電気自動車(EV)の活用など蓄エネによる電力需要の平準化
HEMSと併せた定置型蓄電池設置やEVを活用した給電システム設置に対する補助の実施
エコタウンの整備推進
環境配慮型街づくりの提案が採択され、民間事業者が、全戸に太陽光発電、家庭用蓄電池を備えるエコタウンの宅地分譲を開始

太陽光発電の導入目標達成のため、新たに策定した「かながわスマートエネルギー計画」の推進による、取組みの強化が必要



県立弥栄高校に設置した太陽光発電設備

PJ2 エネルギー関連産業の集積促進

エネルギー関連企業の誘致
「インベスト神奈川 2nd ステップ・プラス」をスタート、支援対象の拡大などによりエネルギー関連企業を誘致
エネルギー関連産業への参入促進
中小規模の工場に適した技術の開発などについて、企業や大学などとの共同研究やコーディネートを実施
エネルギー関連ベンチャーの事業化促進
公募により採択されたプロジェクトについて、エネルギー関連産業の実務に精通した総合プランナーによる支援を実施

柱 災害に強く安全で安心してくらするまちづくり

PJ3 津波被害を軽減する対策の強化

津波に関する調査と対策の実施
地震被害想定調査、相模湾沿岸市町の地籍調査の促進
津波避難施設などの整備・確保
津波避難地や津波避難ビルの確保、津波避難施設の設置
津波避難情報の提供・伝達の充実
沿岸市町による津波ハザードマップ作成などへの支援、津波避難訓練の実施、道路情報板による津波避難情報の提供

PJ4 大規模災害などに備える災害対応力の強化

災害に強いまちづくり
道路の整備・橋りょうの耐震補強や総合的な治水対策を実施、急傾斜地崩壊危険区域における施設の整備など
災害時の即応体制の強化
「ビッグレスキューかながわ」、「かながわシェイクアウト」など防災訓練の実施、市町村の消防防災力の強化などに向けた支援
東日本大震災で顕在化した課題への対応
地震災害対策推進条例の施行、帰宅困難者対策訓練の実施、地震被害想定調査・石油コンビナート等地震被害等予測調査の実施

PJ5 犯罪や事故のない安全で安心なまちづくり

犯罪などの起きにくい環境づくり
街頭緊急通報装置の設置、自主防犯活動養成講座、防犯教室などの開催
県民に不安を与える犯罪の抑止・検挙及び交通事故の防止
地域の実態に即した制服警察官による「見える・見せる・声かける」警察活動を推進
犯罪被害者などへの支援
かながわ犯罪被害者サポートステーションにおける支援の実施、「いのちの大切さを学ぶ教室」の開催



自主防災組織による消火訓練

いのちが輝き誰もが自分らしくらせる社会づくり

PJ6 高齢者が生き生きと
くらせる社会づくり

地域包括ケア・認知症ケアの推進
 神奈川県版ファーストステップ研修、
 認知症介護実践者研修の開催による福祉・介護人材の育成など
 高齢者が安心してくらせるまちづくり
 多世代近居のモデル地区の設定とまちづくり計画の作成
 高齢者の健康・生きがいづくり
 老人クラブによる一人ぐらしや病弱な高齢者の訪問



高齢者によるソフトバレーボールの大会

PJ7 県民が安心できる
保健・医療体制の整備

地域に根ざし開かれた医療の推進
 神奈川マイカルテ（お薬手帳の電子化）実証実験を開始
 がん対策の総合的な推進
 県立がんセンター新病院がオープン、
 がん診療連携拠点病院等でがん患者等に対する相談を実施
 医食農同源など病気になるない取組みの推進
 医食農同源の取組みやイベント等を紹介するチラシや
 健康レシピをまとめたメニュー集を発行

PJ10 男女がお互いを尊重し
ともに活躍できる社会づくり

男女共同参画の推進
 女性の就業・再就業に向けて、講座や相談、カウンセリングを実施
 男女がともに働きやすい環境づくり
 ワークライフバランスの実現に向けて、中小企業などへ
 アドバイザーを派遣、認可保育所整備の支援
 配偶者などからの暴力防止と被害者への支援
 暴力防止に向けた講座の実施、啓発冊子の配布のほか、相談、
 一時保護、自立支援を実施

PJ8 こころといのちを守る
しくみづくり

自殺対策の総合的な推進
 県、市町村、関係機関・団体でゲートキーパー研修を開催
 精神科医療体制の整備・充実
 精神科救急医療体制において、
 土日の午後から夜間に受入れを行う土日午後輪番病院を
 新設、県立精神医療センター整備工事の推進

PJ9 障がい者の地域生活
を支えるしくみづくり

「すまい」の確保と福祉・医療サービスの充実
 グループホーム等の職員支援技術向上のための研修を実施
 「いきがい」を高める社会参加や就労の支援
 休日開所事業の新設などへの補助を実施、県内8か所に設置した
 センターで就労を支援
 バリアフリー化の推進など「ささえあい」の環境づくり
 相談支援従事者の質の向上を図るスキルアップ研修を実施

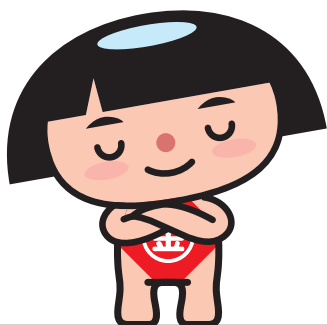
PJ11 多文化共生の地域社会づくり



外国籍県民がくらしやすい環境づくり
 コミュニケーション支援のため、国際言語文化アカデミア
 での日本語講座などの実施
 神奈川でくらし学ぶ留学生への支援
 「日本人学生・生徒と留学生との交流の場
 「かながわインターナショナル・カフェ」の実施
 多文化理解の推進
 「地球市民かながわプラザにおいて、多文化共生イベント
 「あーすフェスタかながわ」などを実施

あーすフェスタ
かながわ 2013PJ12 健康で豊かな人生を築く
スポーツ振興

ライフステージに応じたスポーツ活動
 県民スポーツ週間において、すべての世代が参加できる
 新たなウォーキングイベントなどを実施
 誰もがスポーツに親しめるしくみ・場づくり
 総合型地域スポーツクラブ指導者のスキルアップ研修を実施



柱 次世代を担う心豊かな人づくり

PJ13

子ども・子育て応援社会の推進



- 安心して生き、育てるための医療体制の充実
- 小児救急の輪番病院及び拠点病院の運営事業への支援
- 出産・育児を応援する環境づくり
- 子育て支援に取り組む事業者を「かながわ子育て応援団」に認証働きながら子育てできる環境と子どもの居場所づくり
- 安心こども基金の活用などによる認可保育所の定員増

PJ14

子どもの安心のための総合的な支援



- すべての子どものいのちを守る体制づくり
- 中高生対象の「いのちの大切さを学ぶ教室」や、「孤育て」防止のための関係機関連絡会議の開催
- 支援を必要とする子どもの育ちを保障するしくみづくり
- 子どもへの専門的ケアを行えるよう、里親、児童福祉施設、相談機関の職員などに対し研修を実施
- 子ども・若者の社会的自立を支援するしくみづくり
- 市町村と連携し、県西部地域若者サポートステーションが出張相談、講座・セミナーを実施

PJ15

明日のかながわを担う人づくり



- ひとりひとりの生きる力を高める学校教育
- 公立小・中学校における授業改善等の実践研究、県立高校生のインターンシップ体験
- 障がいのある子どもたちを育む支援教育の推進
- 横浜ひなたやま支援学校の整備、企業における生徒の体験実習
- 児童・生徒が学ぶ環境づくり
- かながわティーチャーズカレッジの実施、まなびや計画に基づく県立学校の耐震化



科学の甲子園
神奈川県大会

柱 人を引きつける魅力ある地域づくり

PJ16

地域資源を活用したにぎわい処点づくり



- 新たな観光の核づくり
- 城ヶ島・三崎漁港周辺、大山、大磯の計3地域を認定
- 地域活性化に向けた拠点づくり
- 湘南江の島、大涌谷の新たな魅力づくりの検討、支援

PJ17

行ってみたい神奈川の観光魅力づくり



洒水の滝

- 観光客の誘客促進
- 新たな切り口で神奈川の観光魅力をPRするパンフレットの作成、地域資源を活用した旅行商品づくり・販売講座の開催
- 観光まちづくり人材の育成や観光関連産業の活性化
- 県内4大学との連携による「かながわ移動観光大学」や「かながわ観光大学シンポジウム」の開催
- 商店街を核とした地域魅力づくり
- 商店街の活性化を意欲的に進める商店街の地域ブランドづくりへの支援

PJ18

文化芸術による心豊かな神奈川づくり



- 文化芸術によるにぎわいの創出
- 「マグカル・ドット・ネット」(ホームページとフェイスブック)における文化芸術情報の発信
- 地域における文化芸術活動への支援
- 相模人形芝居や日本舞踊の伝統芸能ワークショップの開催

PJ19

NPOの自立的活動と協働の推進



- ボランティア活動の充実に向けた支援
- 寄附者が個人県民税の税制優遇を受けられるNPO法人の指定
- 多様な主体による新たな協働の推進
- 企業とNPOのパートナーシップ支援事業の実施

PJ20

「水のさとかながわ」づくり



- 水を育み、守る取り組みの推進
- 水源地域活性化のためのイベントや水の魅力を発信するフォーラムの開催、小学校高学年を対象とした水道教室などの実施
- 水を活かす取り組みの推進
- かながわ方式による水ビジネス推進の一環として、箱根地区水道事業包括委託の事業者選定、事業契約の締結
- 水源の保全・再生
- 水源の森林エリア私有林の公的管理・支援の実施

PJ21

神奈川の自然環境の保全と活用



- 丹沢大山の自然再生と活用
- 土壌流出防止対策、登山道整備やニホンジカの管理捕獲事業の実施
- 里地里山の保全と活用
- 地域選定、団体認定、保全活動の支援及び普及啓発活動の実施
- 都市のみどりの保全と活用
- 都市部の緑地の買入や防災等の工事、県立都市公園などの整備の実施

PJ23 競争力の高い産業の 創出・育成



県内企業の技術高度化・国際化支援
 中小企業と大企業との技術連携促進のため、
 産業技術センターによる技術相談などを実施
 成長分野の企業促進
 有望な企業プロジェクトの認定、支援
 企業誘致による研究開発機能の集積促進
 総合特区等における立地支援策を充実した
 「インベスト神奈川 2nd ステップ・プラス」をスタート
 科学技術の重点的研究の推進
 神奈川科学技術アカデミー（KAST）や県試験研究機関において、
 大学や企業などと連携し研究を推進

PJ24 産業人材の育成と 就業支援の充実



企業や求職者のニーズに応じた人材育成
 求職者などの職業能力開発を支援する西部総合職業技術校が開校
 就業支援の充実
 「マザーズハローワーク横浜」「かながわ若者就職支援センター」
 などでキャリアカウンセリングを実施
 ワーク・ライフ・バランスの推進
 ワーキングマザー両立応援カウンセリングの実施



PJ22 持続可能な 環境配慮型社会づくり



地球温暖化対策の推進
 電気自動車の普及拡大に向けた
 「次世代自動車充電インフラ整備ビジョン」の策定
 資源循環の推進
 「かながわりユースショップ認証制度」
 適正処理の推進
 廃棄物処理業者の指導、県立産業廃棄物最終処分場の運営



県民と連携した登山道整備

PJ25 神奈川を世界に アピールする国際戦略



神奈川の特徴を生かした国際交流の推進
 留学生支援拠点「かながわ国際ファンクラブ KANAFAN
 STATION」の運営開始
 県内企業の海外展開支援と外国企業の誘致
 県内中小企業の海外展開支援のためのガイドブックの作成、
 現地ビジネスセミナーでの外国企業誘致活動
 外国人観光客の誘致促進
 海外での観光展、海外からの旅行会社、メディア等の招聘
 国際戦略総合特区を活用した拠点形成
 殿町区域で「ライフイノベーションセンター（仮称）」の
 整備を推進、特区区域を大幅に拡大

PJ26 神奈川の特徴を生かした 農林水産業の展開



県民の求める「食」の提供の推進
 県庁での「かながわ畜産フードコレクション 2013」の開催、
 就農相談等による農業への新規参入の支援
 県産木材の有効活用の促進
 県産木材の流通を円滑に進めるコーディネーターの育成、
 高性能林業機械導入に対する助成
 水産資源の回復と有効利用の促進
 守り育てる漁業の推進に向けた漁協による資源管理計画の策定

PJ27 活力と魅力あふれる まちづくりと 交通ネットワークの充実



交流と連携を支える道路網の整備
 （仮称）綾瀬スマートインターチェンジの連結許可を取得し
 事業着手、国道134号（高浜台交差点以西）4車線部分供用、
 足柄紫水大橋の供用
 交流と連携を支える鉄道網の整備
 神奈川東部方面線の整備促進、リニア中央新幹線の建設促進
 など
 国際競争力の強化に向けた空港政策の充実
 羽田空港の国際化を生かしたまちづくりの推進、空港周辺アクセスの
 整備促進
 魅力あるまちづくりの推進
 ツインシティにおいて一部都市計画手続きに着手



紫水大橋



「神奈川モデル」の取組み状況

県民、NPO、企業、団体、市町村などと情報や目的を共有しながら、神奈川の総力を結集し、全国的先駆けとなる新たな政策をともに創りあげ、「神奈川モデル」として全国に発信し、さらなる普及を図っています。「かながわグランドデザイン 実施計画」で掲げる9つの「神奈川モデル」の2013年度の取組み状況は次の通りです。



神奈川モデル 「県内企業における屋根貸し」

かながわスマートエネルギー構想の推進

「屋根貸しセミナー・相談会」を開催するなど、「屋根貸し」モデルの民間施設への普及を促進



神奈川モデル 「医食農同源の推進」花菜ガーデンで開催

医食農同源の推進

高機能性食品の研究や漢方理解促進のあり方など、医食農同源の取組みについての検討を実施健康レシピを一冊にまとめた「かながわの医食農同源メニュー」が完成

「食」(医食農同源)をはじめとする健康づくりをムーブメントとするため「未病を治すかながわ宣言」を発表



神奈川モデル 水のさとかながわづくり

「水のさとかながわ」づくり

水の魅力にふれるフォトラリーや「水の観光ツアー」の実施

「水の観光カレンダー」の作成配布や観光サイト「みずたび」の運営などにより「水のさとかながわ」についてPR

ビッグレスキューかながわ

大規模災害時の医療支援体制を強化するため、自衛隊、災害派遣医療チーム、自主防災組織など約9,000人が参加して訓練を実施

ビッグレスキュー



神奈川モデル 県立看護専門学校での実習

医療のグランドデザイン

「いのち輝くマグネット神奈川」を具体化するために策定された都道府県初の医療全般にわたるグランドデザインに基づいた取組みを実施神奈川マイカルテの推進に向け、お薬手帳の電子化を実証実験中

「いのちの授業」

学校でのいのちの授業の取組みを紹介するHP「いのちの授業を見つけた」において、773の実践事例や子どもたちのメッセージを掲載中学生・高校生を対象とした「いのちの大切さを学ぶ教室」を前年度より回数を大幅に増やして開催

神奈川モデル いのちの授業風景



神奈川モデル にぎわい拠点づくり 大山キックオフイベント

にぎわい拠点づくり

新たな観光の核づくりの構想を具体化するため、城ヶ島・三崎漁港周辺地域、大山地域、大磯地域の3地域について、事業計画を策定江の島島内の渋滞対策手法の検討など、利便性の向上に向けた取組みを実施

かながわ国際ファンクラブ

「かながわ国際ファンクラブ」(ポータルサイト及びフェイスブック)を運営

留学生による学校での国際理解講座や、日本人学生・生徒と留学生の交流の場「かながわインターナショナル・カフェ」を実施

神奈川モデル かながわ国際ファンクラブ-KANAFAN



神奈川モデル ライフイノベーション

京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区の推進

県主導でライフイノベーションセンター(仮称)の整備を推進

県主導でスタートしたライフイノベーション国際協働センター(GCC)が、シンガポール政府機関とライフサイエンス分野での協力に関する覚書を締結

これからの医療に求められる国際的医療人材像についてシンポジウムを開催

